

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 加納高等学校 学校運営協議会（ゆめ会議かろう）（第1回）
- 2 開催日時 令和8年 6月 24日（水） 9：45～11：20
- 3 開催場所 加納高等学校 校長室
会の後半に、美術棟（油画室）・芸術棟（日本画室）へ移動し、美術科のデッサンコンクールの様子を見学した。
- 4 参加者
会 長 高橋 利行 池田町教育委員会教育長
副会長 大宮 康一 岐阜大学准教授
委 員 乙津 真由美 愛知みずほ短期大学 特任教授（欠席）
嘉根 礼子 サラマンカホール支配人
小島 紀夫 小島紀夫事務所代表 演出／プロデュース
朝日大学・大垣女子短期大学客員教授
杉本 昭一 アデコ株式会社 社未来仕事共創部 部長
平木 一弘 加納西自治会連合会代表
宇佐見 弓弦 PTA 副会長

学校側	中川 敬三	校長
	須藤 亜由子	教頭
	小森 久美子	事務部長
	藤垣 美奈子	教務主任
	藤田 英博	普通科主任
	青木 智宏	研修主事
	吉田 健太	教務部担当

5 会議の概要（協議事項）

（1）本校の現状について

- ・生徒の活動状況
- ・入学者選抜の状況
- ・進路実績
- ・部活動加入状況
- ・生徒指導の状況

意見1：本校は明るく落ち着いた校風が感じられる。今後も生徒が安心して学べる教育環境づくりに努めてほしい。

意見2：音楽科及び美術科は本校の特色であり、芸術系人材の育成という観点からも重要な役割を担っているため、魅力発信の充実に取り組んでほしい。

意見3：音楽科の志願者数減少について課題意識を共有し、中学校への広報活動や特色ある教育活動の充実を図るとともに、生徒が進学したいと思える魅力ある学科づくりを今後も継続してほしい。

意見4：専門的な学びや教員との出会いは学校選択の重要な要素であるため、本校ならで

はの教育環境や特色を積極的に発信してほしい。

意見5：様々な形で音楽を志す子どもたちが学び続けられるような支援があるとよい。

意見6：遅刻の状況や交通安全について質問があった。

⇒遅刻者数の改善に向けて、引き続き指導を継続していく。また、自転車通学者への交通安全指導についても継続して実施する。

(2) 学校運営計画について

- ・学校経営方針
- ・教育課程への対応
- ・生徒理解に基づく指導
- ・外部連携を活用した教育活動
- ・業務量管理の推進

意見1：挨拶や礼儀などは、社会生活の基盤となるため、継続的な指導を行ってほしい。

意見2：地域や外部機関との連携を生かしながら、生徒の自立につながる教育活動を推進してほしい。

意見3：A Iやデジタル機器を適切に活用できる力を育成するとともに、情報モラル教育の充実を図ってほしい。

意見4：自由な校風、生徒の自主性を尊重しながらも、生徒が適切に判断・行動できるよう、学校として指導の基準を明確にし、共通理解のもとで指導を進めてほしい。

意見5：地域から信頼される学校づくりを進めるため、挨拶や礼儀を大切にする生徒の育成に努めてほしい。

意見6：普通科、音楽科及び美術科の連携を一層推進し、それぞれの特色や強みを生かした本校ならではの教育活動の充実を図ってほしい。

6 会議のまとめ

委員からは、本校の特色ある音楽科・美術科の魅力発信や芸術系人材育成の充実、地域と連携した教育活動の推進や中学校への広報活動の推進について意見が出された。

また、挨拶・礼儀指導の充実、A I等のデジタル技術を適切に活用する力の育成、普通科・音楽科・美術科の連携による本校ならではの教育活動の充実について提言があった。

令和8年度学校経営計画及び学校運営基本方針について協議を行い、委員の承認を得た。

今後も本校の特色を生かした教育活動の充実と地域に信頼される学校づくりを推進していくことを確認した。